

被災地での交流活動が続ける作家が、忘却されていく体験をファンタジーとして描く

パルコキノシタ スウィート・ヒアアフター Parco Kinoshita; Sweet Hereafter

2015年7月18日(土)～11月3日(火・祝)

パルコキノシタは、1980年代末から、画家、イラストレーター、漫画家として、一貫してグラフィックな作品を手がけるとともに、ワークショップやパフォーマンスなど社会的アクションで、私たちの生きる時代と積極的に関わり表現活動を行ってきました。2011年の東日本大震災以後、石巻や女川などの被災地へおもむいて支援活動を行い、震災にあった子どもからお年寄りまで、全ての方々とワークショップを通じて交流する活動を続けています。そうした体験から私たちの社会にも思いをめぐらします。甘い来世を意味する「スウィート・ヒアアフター」には、過酷な体験が忘却され、ファンタジーとなって私たちの記憶が変えられていくプロセスへの抵抗が込められています。ファンタジーの中にリアルを残すことが、アーティストの仕事ともいえます。ときに奇抜でありながらも、ペーソスのあるユーモアを失わず、逆説的にしか示せない社会の隠された真実を浮かび上がらせるパルコキノシタ。震災から4年にして、私たちが生きる「いま」を静かに問いかけます。



【休館日】月曜日(7/20、9/21、10/12をのぞく)、7/21(火)、8/31(月)～9/11(金)、9/24(木)、10/13(火)

【開館時間】10:00～17:00 公開制作室(観覧無料)

【制作日時】7/25(土)、30(木)、8/4(火)、11(火)、12(水)、15(土)、16(日)、30(日)、9/13(日)、10/11(日)、12(月・祝)、25(日)
*各日12:00～17:00 *9月13日以降の土・日・祝日の13:00～17:00は、当館普及員によるガイドあり

【ワークショップ】

「トンネル閉じて開かれる夢の世界を見てみよう!」9/13(日)10:30～15:00、小学生以上30人(抽せん)、無料、内容は段ボールで秘密のトンネルを作って自由に遊ぶ、申込みは9/3(木)まで(当日消印有効)、往復はがき(1人1枚)に住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、返信用あて名を記入して、当館「トンネル」係へ/電子メール(bijyutu01@city.fuchu.tokyo.jp)可

【アーティストトーク】

「スウィート・ヒアアフターをめぐって」10/25(日)14:00～、無料、予約不要、内容は作家が自作について語る



【パルコキノシタ プロフィール】

1965年徳島生まれ。現代美術家、漫画家。小中高の教師を経てイラストレーターに転向、月刊漫画ガロで漫画家デビュー。小学生対象のワークショップや、ヴェネチアビエンナーレ、ドクメンタの国際展でゲリラパフォーマンスを行うなど、軽いフットワークと柔らかく頭で世界を突進中。教育と美術の研究も。会田誠、小沢剛、有馬孝久、大岩オスカル、松蔭浩之とともに昭和40年会のメンバーである。

【図版】

表面《幽霊でもいいから》アクリル・ボールペン・鉛筆、紙・キャンパス・木製パネル/140×350cm/2012年
上《帰郷》アクリル・ボールペン・鉛筆、紙・キャンパス・木製パネル/41.5×32cm/2012年(個人蔵)
下(ワークショップ写真)男木島でのワークショップ「かぶりもの大行進!」(瀬戸内国際芸術祭2013)

【主催】府中市美術館 【協力】新宿眼科画廊

【同時開催】企画展「ばれたんリゾート」(7/18～8/30)、「マリー・ローランサン」(9/12～12/20) *10/11(日)は市民文化の日(無料観覧日)

【交通案内】

- 京王線東府中駅北口から
・徒歩17分
- ・ちゅうバス府中駅行きで「府中市美術館」①下車(8:05から毎時30分間隔・100円)
- 京王線府中駅からバス
・ちゅうバス多磨町行きで「府中市美術館」①下車(8:00から毎時30分間隔・100円)
- ・武蔵小金井駅行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ
- ・武蔵小金井駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園前」③下車徒歩8分
- JR中央線武蔵小金井駅南口からバス
・府中駅行き(一本木経由)「一本木」④下車すぐ
- ・府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園前」⑤下車徒歩8分
- お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場をご利用ください。

府中市美術館 Fuchu Art Museum

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3 ハローダイヤル 03-5777-8600

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

